

競 技 注 意 事 項

1 本大会は、2020年度日本陸上競技連盟規則および本大会要項に従って行う。

また、新型コロナウイルス感染症対策については、札幌市中学校体育連盟 陸上競技専門委員会『新型コロナウイルス感染拡大予防競技会運営・参加の各チェックリスト』に準じて行う。

2 競技者の招集について

(1) 選手招集場所は、全種目において現地（スタート地点・各競技場所）集合とし、現地での点呼をもって招集完了とする。

(2) 招集開始時刻および招集完了時刻は、全てその競技の開始時刻を基準とし、下記の通りとするが、出場人数によって変更もあるので、タイムテーブルを確認すること。競技者係の指示で整列し、チェックを受ける。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック 競技	15分前	10分前
走高跳・走幅跳・砲丸投	30分前	15分前
棒高跳	45分前	30分前

(3) 招集方法

・競技者は、出場種目の招集開始時刻に、現地（スタート地点・各競技場所）でアスリートビブス（ナンバーカード）を競技者係に示し、種目名・組・レーンのチェックを受ける。決勝に進出した場合は、事前に組・レーンなどを確認しておくこと。（記録速報掲示板の番組編成に掲示してある）

・個人種目とリレー競技の招集時間が重なった競技者については、招集は本人のみで、代理人による招集は認めない。ただし、事前にその旨を競技者係及びフィールド審判員に申し出て、競技に参加すること。

・招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなす。

・四種競技、リレー競技についても、同様とする。

（現地（スタート地点・各競技場所）集合とし、現地での点呼をもって招集完了とする。）

3 トラック競技について

(1) 同じ種目でも、組によって招集時刻が異なるので注意する。

(2) トラック競技の出場者は、招集時に渡されたシールタイプの腰ナンバー標識をユニフォームの右腰や後ろにつける。また、個人の腰ナンバー標識がある場合は、使用してもよい。その場合は、あらかじめユニフォームにつけた状態で招集を受けること。

(3) 事故防止のため、短距離ではフィニッシュ後も自分のレーン（曲走路）を走る。

(4) リレーのオーダーは、1組目招集完了時刻の60分前までに競技者係に提出するものとする。時間までに提出されない場合は、棄権とみなす。リレーでは、バトンパスが終わったら、自分のレーンのマークをはずすこと。なお、マークは主催者側で準備したものを使用すること。

(5) トラック競技の決勝の走路順は本部抽選とし、記録速報掲示板の番組編成欄に掲示する。結果については掲示しない。

(6) トラック競技のプラスアルファが、規定数より多いときは、0.001秒以上の差が認められれば、着差ありとして決定する。この結果、まだ同成績がいる場合には、本部での抽選によって決定する。

(7) 男子800m、男女1500m、男子3000mはタイムレース決勝で行う。なお、男子800mの参加選手が10名であるが、9レーンの選手は2レーンに、10レーンの選手は7レーンに入り、セパレートコースで実施する。

(8) 本大会のスタートについては、第162条5を適用せず、不適切行為を注意にとどめる。但し、不適切行為が繰り返される等、悪質なものは、第125条5および第145条2を適用し、失格とする。

4 フィールド競技について

(1) 走高跳のバーの上げ方は、下記の通りとする。（当日の天候などによる変更有り）

男子 走高跳（練習1m45・1m65）1m50（以後5cm上げ）1m70以後3cm上げとする

女子 走高跳（練習1m25・1m45）1m30（以後5cm上げ）1m45以後3cm上げとする

(2) 四種競技の走高跳のバーの上げ方は、下記の通りとする。（当日の天候などによる変更有り）

男子 走高跳（練習1m15・1m45・1m65）1m20 1m30 1m40 1m50（以後3cm上げ）

女子 走高跳（練習1m05・1m25・1m46）1m10 1m20 1m30（以後3cm上げ）

(3) 棒高跳のバーの上げ方は、下記の通りとする。（当日の天候などによる変更有り）

（練習2m10・3m00・3m50・4m00）

2m30開始 — 2m50 — 2m70 … 3m70 — 3m90（以後10cm上げ）

(4) 四種競技について、トラック競技はプログラム記載順で行い、フィールド競技の試技は3回とし、指定された順番で行う。ただし、最終種目における組み合わせは、それまでの得点の順に番組を編成する。

5 その他

- (1) 各競技で8位までの入賞者には賞状を、優勝者にはメダルを授与する。また、リレー競技で3位までの入賞チームには高平慎士氏よりサイン入りバトンを登録メンバー分、優勝チームには優勝カップを授与する。
- (2) 表彰については、トラック競技は、フィニッシュ後、3位までに入賞した競技者のみ100mゴール地点で行う。フィールド競技も競技終了後、トラック競技と同様に行う。1位～8位までの賞状は、大会本部にてチームの引率者が代わりに受け取る。
- (3) 競技者以外でIDカードのない者は、競技場内に立ち入ることはできない。(本部前、フィニッシュ付近も通行禁止とする。)
- (4) ウォーミングアップは、基本的に個別で行い、安全に留意させること。(主競技場は7:00～8:30まで開放する。)
※競技場で運動中にマスクを着用する必要はないが、運動が終わった地点でマスクを着用すること。また、マスクをはずした状態での近距離での会話や大声での発声は避けること。
*競技場のトラックの使用については次の通りとします。
 - ・1～2レーン：周回練習
 - ・3～8レーン：スピード・リレー練習
 - ・3～6レーン：スタート練習
 - ・7～8レーン：ハードル練習
- (5) リレーの練習で使用したマークは、各団体で責任をもって処分する。自分のゴミは、持ち帰ること。(ペットボトルや缶も必ず持ち帰ること。ゴミ箱は使用できない。)
- (6) スタート・フィニッシュ付近では、静かにすること。
- (7) 競技開始までに欠場することが決まっている選手については、円滑な競技運営のために、事前に『棄権届』を大会総務に提出すること。
- (8) 競技の進行上、競技開始時刻などに変更が出る場合もあるので、放送を聞きもらさぬように注意すること。
- (9) 競技場に練習用の個人器具を持ち込むことは禁止する。(棒高跳びのポールを除く)
- (10) 競技場のメインスタンド、メインスタンド裏でのテントの設置は禁止とする。テント等を設置する場合は、サイドまたはバックスタンドは可とするが、風で飛ばされたりしないよう十分注意すること。なお、テントの設置については、設置場所に限りがあるため、3名以上出場するチームにテント設置場所を割り当てる。(テントの設置については各チームに一任する。)設置場所については、大会総務で割り当てを行い、大会前日までにアスリートランキングで発表する。【可能な限り、地区ごとにまとめる予定】
- (11) 競技場に商品名のついた衣類やバッグ類等を持ち込む場合、「競技会における広告および展示物に関する規程」を遵守すること。競技役員から指摘・指導された場合は、その指示に従い、必ずテープ等を貼って隠すこと。
- (12) 競技中の事故については、主催者で応急処置をするが、以後の責任は負わない。
- (13) 盗難防止のため、貴重品は各自で保管する。また、スタンドでの盗難・置き引きには十分注意すること。
- (14) 当日の競技場開門時間は7:00、場所は100mスタート後方地点ゲートのみとする。競技場開放とテント設営開始時間は7:00からとする。入場後は、必ず手洗いや手指消毒を行い、体調管理チェックシートを引率者に提出する。回収したものは、各チームの引率者が受付時に本部に提出する。
- (15) 本大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から無観客で実施します。また、競技場内外の出入りについては、朝は100mスタート後方ゲート1か所のみとし、競技開始後は、100mスタート後方ゲートも開放します。
- (16) 大会主催者は競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。
- (17) 競技運営目的以外に感染症予防対策として個人情報を取得することがあります。また、大会主催者が保健所・医療機関等の第三者へ情報を提供することがありますので、大会参加と併せて同意とします。取得した個人情報は大会後少なくとも1か月以上とします。保管期間を過ぎた当該情報は、適正かつ速やかには行きを行うとともに、廃棄した証を保管します。